

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104506
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム小野の里
所在地	鹿児島市小野2丁目10-18 (電話) 099-220-7070
自己評価作成日	平成 30年 2月 11日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年2月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

パーソンセンタード・ケアを職員全体で理解し本人様に寄り添った介護で支援しています。ホーム全体が落ち着いた家庭的な雰囲気の中で、のんびりゆっくりと自分のペースで過ごされ、日常生活動作を出来る限り自身で行って頂く事で、身体能力の維持・向上を図っています。中には洗濯物干しや洗濯物畳みなど、家事手伝いを日課とされている方もいらっしゃいます。毎月の行事で季節感を味わっておられ、時折職員と一緒にドライブに出かける事もあります。近隣保育園と節分・七夕・交流会・クリスマスなどの行事で交流を図っており、七夕や交流会では入居者の皆様も表情良く、楽しまれている様子もみられています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

国道から少し入った住宅街に位置し、近隣にはコンビニ・温泉の他、日課で散歩に行ったり敷地内にある畑に水やりをするなど、自然を身近に感じる事のできる環境にある。

外出の行事も多く、四季を感じる外食を兼ねての花見や近隣の文化祭へ行ったり、地域のボランティアや保育園児との交流を図るなど日常的な交流も利用者の楽しみになっている。

利用者に寄り添うケアに心がけ、力量のある方や残存能力でまだ出来ることしたいことがある方には自己決定で行動して頂き、出来ないことを職員は支援していくよう努め、スタッフ間もお互いの協力体制もあり、ホーム全体が家庭的である。

管理者は職員に対してコミュニケーションを取りながら資格取得も応援している。家族は母体が医療機関の為、緊急時対応や24時間の医療連携体制があり安心につながっている。

職員全員で、利用者の為に温かな雰囲気での家庭的な日常生活が出来るようケアをしていくアットホームなグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	共通理解した上で実践へつなげている。	理念はホームの玄関・リビング・廊下などあちこちに掲示され、朝礼では唱和している。利用者が手書きした物もある。家族への周知もされていて理解した上で共有されている。職員は日々理念を意識してケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域の保育園行事に参加したりホーム行事に来て頂いたりして定期的に交流を図っている。	町内会に加入し地区の文化祭へは毎年作品を出品している。回覧板にホームの夏祭りの案内を載せたことで近隣の子供達が来訪した。日常の挨拶は散歩時等で交わしている。ボランティアや実習生の受け入れをするなど地域の一員として交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症があるご家族の方の相談や高齢者サービス利用のお手伝いや説明、案内を行っている。入居申し込み時などの相談に多く時間をとっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事計画の実施報告や今後の計画報告を常時行っている。御家族様からの要望、困りごと等気軽に発言くださるような雰囲気作りにも努めている。	2ヶ月毎の会議は定例化され、状況報告や行事報告またヒヤリハットの事例報告も行っている。参加のなかった家族へは会議後に報告している。会議で出された意見・要望はケアに反映し、サービスの向上に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村主催の研修、勉強会に参加したりして、連携を図っている。	市担当者とは空き状況を連絡したり、生活保護の利用者もいるので担当課の職員とは連携を取っている。市主催の研修会や勉強会へも参加している。運営推進会議への参加もあるなど協力関係は築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を毎月実施しており、身体拘束の知識を深め、職員間で介護の方法をを検討しながら、身体拘束をしないケアを心掛けている。	毎月のミーティング時には勉強会を行っている。年間の研修もあり、職員はの意識は高い。言葉の拘束には気をつけ、気付いた時点で注意指導している。玄関の施錠はしないなど、日々身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての内部研修や全体カンファレンスでも取り上げて虐待防止の理解に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度について内部研修を行い、職員が制度の理解が得られる様に努めている。実際、入居者の中に成年後見制度を利用しておられる方がおられるのでその方を例に話もを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は重要事項説明書・契約内容を一緒に確認し、説明を行っている。合間や終わりに不明な点がないか確認を行っている。リスク説明も新たに追加され、認知症・高齢者の特徴なども説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見箱を設置しており、運営推進会議や面会時にいつでも意見が言えるような雰囲気づくりに努めている。	利用者や家族からは日頃の会話の中や、面会時に意見や要望を聞き把握に努めている。出された意見・要望は職員で話し合い運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンス時に職員の意見を聞いたり、必要時には個人面談を行っている。	管理者は職員から意見・要望を朝礼時や職員会議で聞き取り、全員で話し合い、内容によっては法人に報告して解決策へ繋げている。職員の資格取得への支援も行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得に向けた支援を行い、取得後は労働条件・給与に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の紹介し、研修を受ける機会を設けている。内部研修も年間行事計画に入れ込んでおり、研修へ参加出来なかった職員へも報告書を回覧している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連事業所・他事業所との研修にて意見交換を行うなど、交流する機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前や入居時に本人様、御家族を交えてアセスメントを十分に行い、安心して頂ける様なサービスを提供して良い関係作りが出来る様に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の見学・申し込みの際にご家族から不安などの意見を聞き、入居時からのケアプランも説明して関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居者の状況を必要と思われるサービスについては、ホームで現在、利用しているサービスの説明を行い、御本人、御家族からそのサービスを利用したいとの申し出がある際には紹介等を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>その入居者様の状態にあわせて一緒に掃除をしたり、日常生活でのお手伝いもスタッフと一緒にしている。食事やお茶も職員と一緒に取り和やかな雰囲気作りを心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は必ず入居者様の近況をお伝えし、随時、御家族様からの要望も伺っている。毎月発送している便りにもその月の行事の様子を写真撮影したものを掲載している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	毎週、礼拝に出掛けられる入居者様もおられる。御家族様にはいつでも外出や外泊して下さいよ事も説明し理解を頂いている。	市内からの入所者が多く友人知人の訪問が多い。家族の協力で外出や買い物に出かけられる方もいる。電話の取り次ぎも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が良好な関係が保てる様な環境づくりに心掛けている。日光浴が出来る様にソファや椅子を設置している。トラブルになりそうな場面時は速やかにスタッフが間に入り円滑な関係性が保てる様支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他のサービスの情報を提供したり、次の施設や病院に入られた後でも見舞いに行ったり、もし亡くなられた場合にはお通夜にも寄せて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時等に本人様、御家族様の意向を伺い支援に生かしている。必要時、ミーティングを開催し本人本位の支援の検討を行っている。	利用者の中には思いや意向を伝えられない方もいるが、日々の会話の中からまた表情や動作からくみ取るようにしている。それでも困難な場合には本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に入居者様、御家族よりアセスメントを行い、新しい環境に戸惑う事が無い様に馴染みの品物、家具等も搬入して頂き、落ち着ける環境づくりを心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	十分な情報収集を行った上で、入居者一人ひとりに合った過ごし方が出来る様、スタッフも十分把握しながら支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティングで入居者一人一人の現状、課題の検討を行っている。	利用者や家族の思いや希望、また職員の見解を基に、訪問診療時の主治医の見解も取り入れ、利用者の状態を把握し現状に即した、本人本位の介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ミカフェンスで話し合ったことを夜勤者に申し送り、他職員にも周知を行っている。介護記録にも気づきや工夫の記入を行い、職員間で共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の状況に応じて柔軟に応じて柔軟な対応を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会や近隣保育園との交流を図っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は入居時に御本人、御家族の要望を伺いスムーズに受診、又は往診が出来る様連携を図っている。	入居前のかかりつけ医に家族の支援で受診されている利用者が多く、歯科は訪問歯科である。職員同行の受診では家族に結果報告をしている。母体の協力医療機関で24時間医療連携が図られ適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日、バイタル測定を行い身体状況の把握を行っている。入居者様の日頃の表情や些細な変化にも早急に対応できる様心掛け、定期受診や往診の際に報告・相談をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院先やご家族へ状況の確認を電話で行い、退院時には病院側からしっかりと情報を得、退院後の対応などを相談している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時、重度化、終末期についての説明を行っているが、重度化や終末期になった時点でもその都度、御家族の意向や主治医からの意見も伺いながら支援を行っている。	重度化や終末期に向けたホームの方針は、入所時に説明をし同意をもらっている。現状では看取りはしない方針であるがまだ文書化まで至っていないので、今明文化に向け検討中である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修や消防訓練時に取り入れている。緊急時マニュアルの作成も行っており、何時でも見れる場所に置いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を実施しており、地震、風水害に関しても訓練も行っている。</p>	<p>年2回のうち1回は消防署立ち合いの下、昼夜間想定で避難訓練を行っている。火災以外の災害訓練も実施している。スプリンクラーの設置、水や缶詰などの備蓄も確保されている。地域と家族の協力また災害時の役割を今検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として敬い言葉掛けで接し、本人様の意思を尊重しながら支援を行う様努めている。	利用者に合った声掛け、呼び方を心掛け職員の研修会も行っている。声掛けのトーンには気をつけ誇りや人格を傷つける事のないように対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活での会話の中で、その方の思いや希望を探ったり、入居者様一人ひとりが自己決定できる様な場面を提供できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースにあわせてその日の体調や気持ちに配慮しながら支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節毎に衣類の入れ替えを行っている。御家族にも随時、衣類の購入依頼を行っている。定期的に移動美容室も利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事毎で特別メニューを用意したり、季節の食材を取り入れている。又、入居様のリクエストにも応じた献立も提供している。可能な入居者にはお盆や箸を並べてもらっている。	献立は前日の当番職員が昼食まで作成している。利用者の中で力量のある方はテーブル拭きやもやしや玉ねぎの皮むきの下処理のお手伝いをされる。年1回の外食や行事食など食事が楽しみになるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせて、食事量や食事形態を把握し食器や食べ方を工夫して提供している。個々の嗜好を理解し提供するようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケア時、個々の能力を把握し必要に応じて介助したりし、自立の方も含め口腔内の状況観察に努める。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自尊心に配慮し、個々の身体機能に応じて支援をし、できる限りトイレでの排泄ができるように支援している。排泄能力、個々の排泄パターンの把握に努め、できる限りトイレでの排泄ができるように支援している。	利用者毎の排泄のリズムを排泄チェック表で把握し、トイレで排泄ができるようケアしている。現状ではリハビリパンツの方がほとんどだが、自分から尿意や便意を伝えられる方もいる。気持ちよく排泄できるよう自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の食事の中に食物繊維を含む食材を取り入れたり、水分を多く摂って頂ける機会を作り水分量を確保し、通常の生活に便秘予防を取り入れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	時間はなるべく希望に沿うようにし、週2回以上の入浴を心がけている。また、時間は午前から夕方まででお願いしている。	基本的には週2回であるが、利用者の希望や身体状況に応じて対応している。入浴出来ない時には清拭や足浴に変え保清に気を付けている。入浴剤を入れるなど、入浴を楽しむ支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、安眠ができるよう日中の活動を積極的に取り、生活リズムを確保することに努めているが適度な運動の提供が難し。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Drや薬剤師から説明を受けて目的や副作用について聞きカルテに薬の説明書を綴り毎回確認している。変更等ある際は申し送りをして伝達している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人ができる事やしたいことを職員が理解し時間がかかってもして頂いている。行為を褒める言葉を入れ意欲を継続できるよう支援していく。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	歩行が難しい方でも車椅子や車を使用し一緒に行事等に出掛け戸外でお弁当を食べたり外食している。外出の希望があればご家族の協力を頂き個別でも出かけて頂いている。	日常では行きたい利用者のみ近隣の散歩や、園庭のみの外気浴を楽しんでいる。ふれあい交流会や文化祭へ職員が連れて行ったり、春は外食を兼ねて花見に行ったり、家族の協力で外出される方もいる。外出の機会が楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>紛失などのトラブルがないようにホームでお小遣いとして預かっており、希望が能力がある方には支払いなどして頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話はいつでも繋いだりかけたりできるよう支援している。またお手紙なども届いた際はお渡しし喜ばれる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂横の和室でゆっくりくつろげるようソファや座椅子を置き、ホールや廊下には季節感を感じられる飾りを付けたり花を生けている。また冬は加湿器などを各所に置きエアコンとあわせ適温になるよう調整している。</p>	<p>採光を取り入れ広く明るい共有空間である。季節を感じる飾り物や花などが活けてあり気持ちが落ち着く。ローカにソファを置きゆったりとくつろげる工夫もなされている。畳の空間も懐かしく居心地よく過ごせるよう工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>お食事の時以外は座席を固定せず自由に座って頂いており、共有空間で個々がテレビを観たりレクレーションを楽しんだり好きな場所で行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族に協力をもらい使い慣れた家具の持ち込みをお願いし本人様の写真や作品を張ったりして個々が過ごしやすい部屋になるように工夫している。</p>	<p>使い慣れた家具や仏壇・テレビ・タンス・ドレッサー・時計など馴染みの物を置いている。家族の写真やぬいぐるみなどお気に入りの物を持ち込まれ、居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手摺を利用して頂くよう声掛けし廊下に障害物を置かないようにしている。本人が理解できるような表示の仕方や声掛けにも工夫を行いながら支援している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない